

MEDIUS HOLDINGS

2015年2月26日

CONTENTS

会社概要

1. 会社概要
2. 当社グループ会社
3. 当社グループの拠点展開

業績の状況

4. 当社グループの業績
5. 2015年6月期 第2四半期の概況
6. 製品群別実績
7. 都県別売上高
8. 2015年6月期 業績予想

今後の戦略

9. 2015年に向けた病院の変革
10. 事業ドメイン
11. 当社の基本戦略
12. 今後の戦略①②③

13. 業績目標

14. 配当政策

メディアスホールディングス問合せ先

補足資料

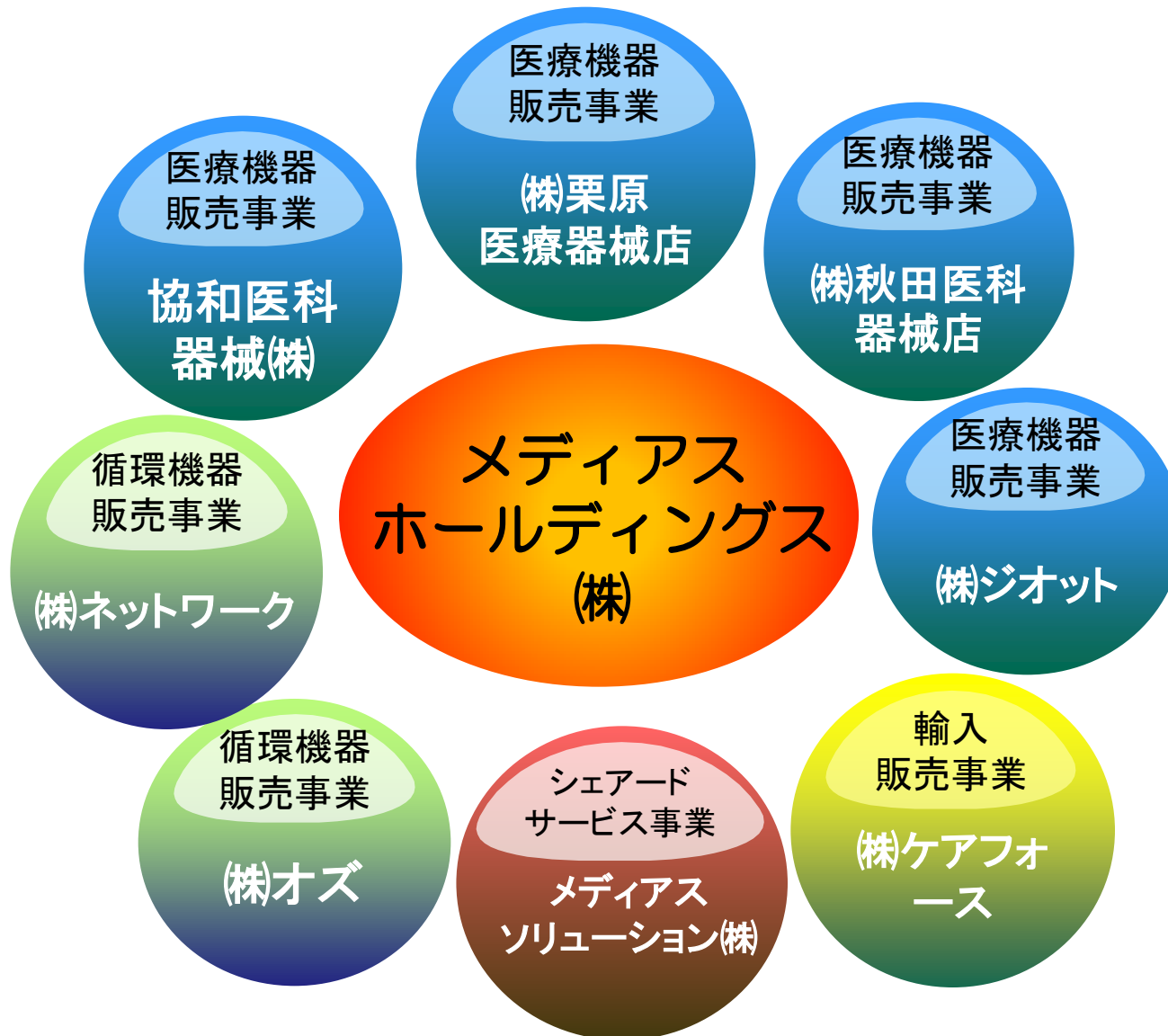
1. 社名の由来
2. 沿革
3. 協和医科器械株式会社 沿革
4. 株式会社栗原医療器械店 沿革
5. 株式会社オズ 沿革
6. 株式会社秋田医科器械店 沿革
7. 株式会社ジオット 沿革
8. 事業内容 ①②
9. 業界順位 ①②③④
10. 業界ポジション
11. 株主状況

会社概要

1. 会社概要

- 【設 立】2009年7月(2010年10月に現社名へ商号変更)
- 【代 表 者】代表取締役社長 池谷保彦
- 【資 本 金】1,285,270千円(2014年12月末現在)
- 【事 業 内 容】医療機器の販売及びメンテナンス
介護福祉機器の販売及びレンタル事業
- 【従 業 員】1,363名(連結 2014年12月末現在)
- 【決 算 期】6月末
- 【本社所在地】東京都中央区京橋1丁目1番1号八重洲ダイビル3階
- 【子 会 社】協和医科器械(株)、(株)栗原医療器械店、(株)オズ
メディアソリューション(株)、(株)ネットワーク、
(株)秋田医科器械店、(株)ジオット、(株)ケアフォース

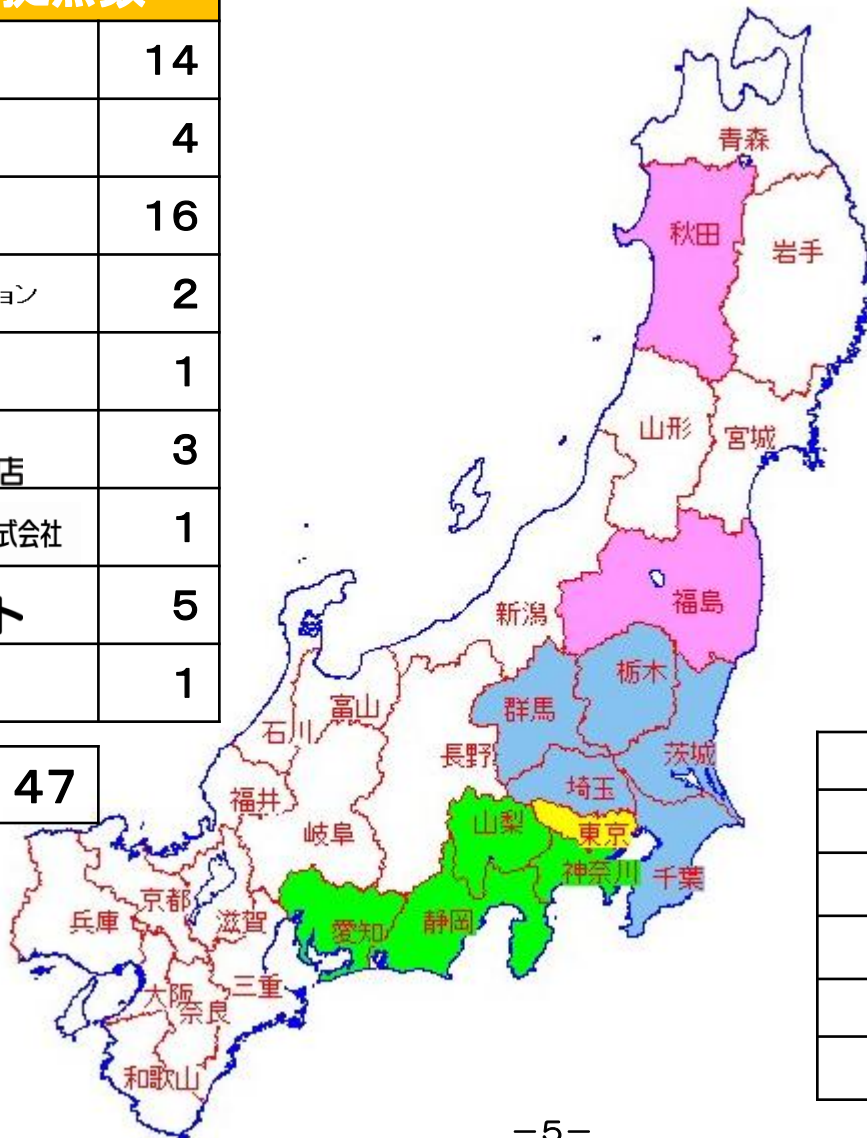
2. 当社グループ会社



3. 当社グループの拠点展開

グループ会社拠点数	
KYOWA	14
株式会社 オス	4
齋栗原医療器械店	16
メディアソリューション	2
(株)ネットワーク	1
信頼の医療機器 株式会社 秋田医科器械店	3
メディアホールディングス株式会社	1
株式会社 ジオット	5
CAREFORCE Inc. <small>www.careforce.jp</small>	1

総拠点数	47
-------------	-----------



都県別拠点数

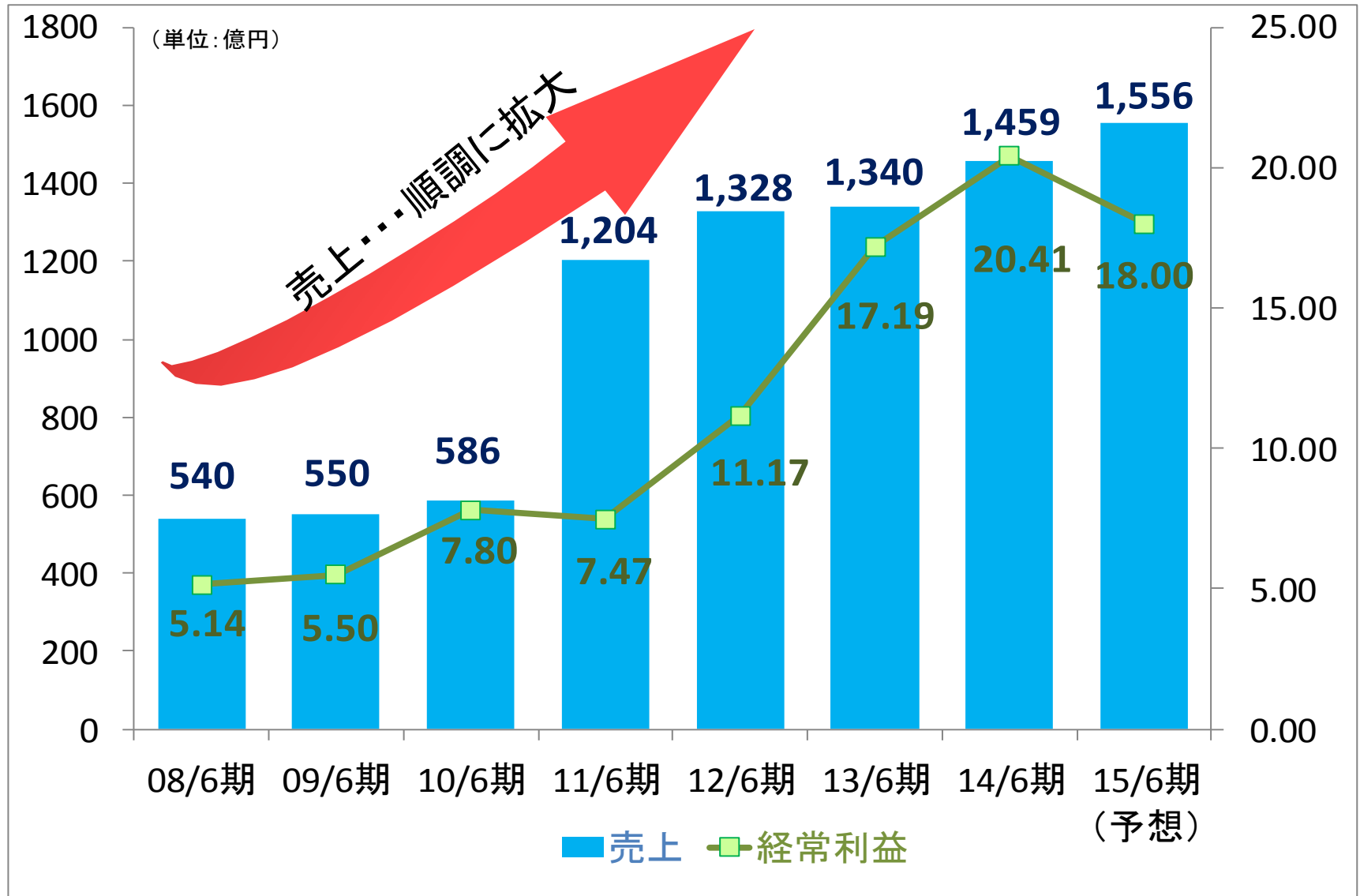
東京都	8
-----	---

内訳	拠点数
メディアスホールディング	1
栗原医療器械店	4
メディアソリューション	1
ネットワーク	1
ケアフォース	1

秋田県	3	千葉県	1
茨城県	2	神奈川県	2
栃木県	1	山梨県	1
群馬県	5	静岡県	9
埼玉県	4	愛知県	6
福島県	5		

業績の状況

4. 当社グループの業績



5. 2015年6月期 第2四半期の概況(連結累計期間)

(単位：百万円、%)

連結損益	14/6期 第2四半期(実績)		15/6期 第2四半期(実績)		対前年同期 増減額	前年 同期比
	金額	百分比	金額	百分比		
売上高	70,664	100.0	72,351	100.0	1,686	102.4
医療機器販売事業	68,999	97.6	70,614	97.6	1,614	102.3
介護・福祉事業	1,665	2.4	1,737	2.4	71	104.3
売上総利益	7,206	10.2	7,517	10.4	311	104.3
営業利益	607	0.9	267	0.4	△339	44.1
経常利益	806	1.1	478	0.7	△328	59.4
当期純利益	461	0.7	228	0.3	△232	49.6
1株当たり 当四半期純利益(円)	158.87		75.25			

6. 製品群別実績(連結)

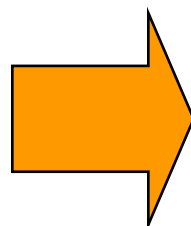
(単位：百万円、%)

商 品 群 別 売 上 高		14/6期 第2四半期	15/6期 第2四半期	前年 同期比
先端医療機器	画像診断装置	4,216	3,751	89.0
	内視鏡	7,481	8,223	109.9
	各種臨床検査機器	2,303	2,738	118.9
	眼科	2,335	2,510	107.5
	カーディオバスキュラー	6,911	7,181	103.9
	合 計	23,248	24,406	105.0
医療用具・備品	消耗品類・手術用機器等	45,751	46,208	101.0

7. 都県別売上高

(単位：百万円、%)

	14/6期 第2四半期	
	売上高	構成比
静岡県	18,121	25.6
群馬県	11,068	15.7
埼玉県	10,460	14.8
東京都	6,173	8.7
神奈川県	6,180	8.7
愛知県	5,980	8.5
茨城県	4,376	6.2
その他	8,303	11.8



	15/6期 第2四半期	
	売上高	構成比
静岡県	17,977	24.7
群馬県	11,478	15.9
埼玉県	10,098	14.0
東京都	7,993	11.0
神奈川県	6,192	8.6
愛知県	5,909	8.2
茨城県	4,336	6.0
秋田県	1,862	2.6
福島県	1,022	1.4
その他	5,478	7.6

※ 拠点の所在地別売上

8. 2015年6月期 業績予想(連結)

(単位：百万円、%)

損益	14/6期 (実績)	15/6期		前期比	
		上期 (実績)	下期 (予想)		
売上高	145,969	72,351	83,309	155,660	106.6
売上総利益	15,013	7,517	9,163	16,680	111.1
営業利益	1,600	267	1,133	1,400	87.5
経常利益	2,041	478	1,322	1,800	88.2
当期純利益	968	228	757	985	101.7
売上高営業利益率	1.1	0.4	1.4	0.9	

達成のためのポイント：

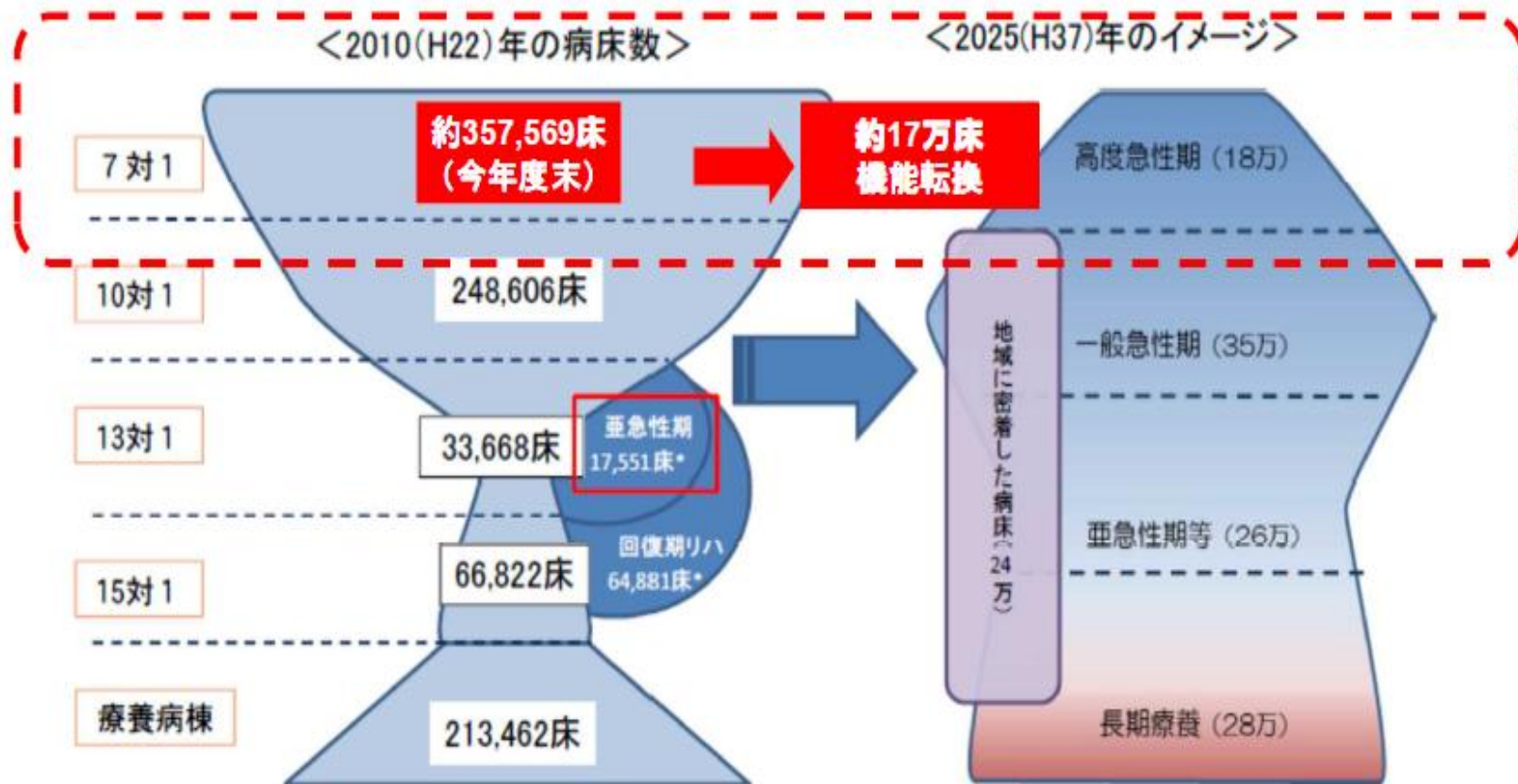
- 償還価格引下げによる売上総利益率の低下を最小に抑えるために大量購買による価格交渉等で仕入価格の削減を図る
- 高度先端医療機器等の器械備品の案件を確実に成約に結びつける
- 首都圏の新規顧客に対し営業強化により販売増加を図る
- SPD・サージレーン事業の推進

今後の戦略

9. 2025年に向けた病院の変革

診調組 入-1
25.7.17

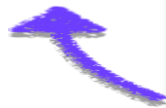
【入院】現在の一般病棟入院基本料等の病床数



* 亜急性期、回復期リハの病床数についてはH24年7月現在

10. 事業ドメイン

	急性期医療	慢性期医療	介護施設など	在宅介護	初期医療 (開業医)
物的資源	数千社 数十万点のメーカー 製品	急性期領域の強み は発揮できない		介護レンタル ビジネス	あり
人的資源	ほとんどがこの領域 を対象に日々活動し 、組織もこの領域に マッチさせている。	人員少ない 儲かる大病院指向		ヘルスケア事業部 ベネッセレ事業部	少ない
ビジネスモデル	地域営業 SPD	なし		ケアマネージャー との近接製維持 オンデマンド受注	メディカルアスクール (栗原) 静岡のみ重点化 (協和)
ソリューション	サージレーン メッカル プライベートブランド	小規模SPD 共同購買			




当社の多くのリソースがここに集中している。

今後急性期医療は高度急性期病院が中心となるが、これらリソースをうまく活用できるよう、営業組織全体のスキルアップを図る。

当社基本戦略

- ① M&Aによる規模拡大
- ② メディアソリューションの活用による営業拡大
- ③ スケールメリットを活かしたコストダウン

① 商品展開の推進

- メッカル分析による価格情報の提供
- サージレーンによる手術室の業務改善
- プライベートブランド 
(アソース) の販売促進

② 子会社の設立

- 医療機関、介護向け機器の輸入・販売
「株式会社ケアフォース」の設立
⇒ 高品質で付加価値の高いケアを提供
するため、移乗機器および電動ベッド等
の輸入・販売

③ 海外市場の開拓

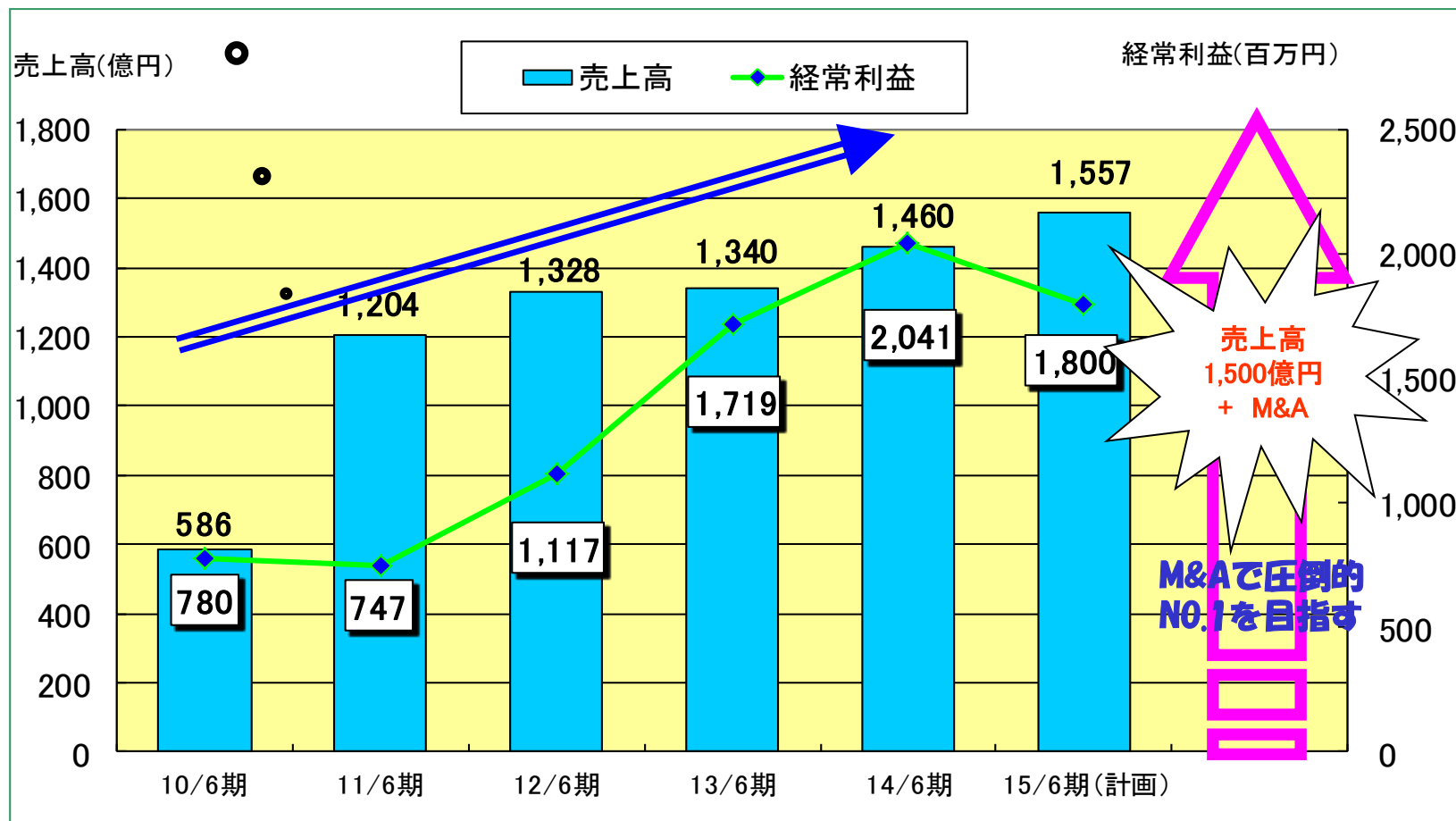
- 医療データベース会社

「*CARNA MEDICAL DATABASE PVT.LTD*」 の稼働

⇒ 鴻池運輸との共同設立し、
インド共和国における新しい
医療物流プラットフォームの
構築に向けた基盤整備を構築

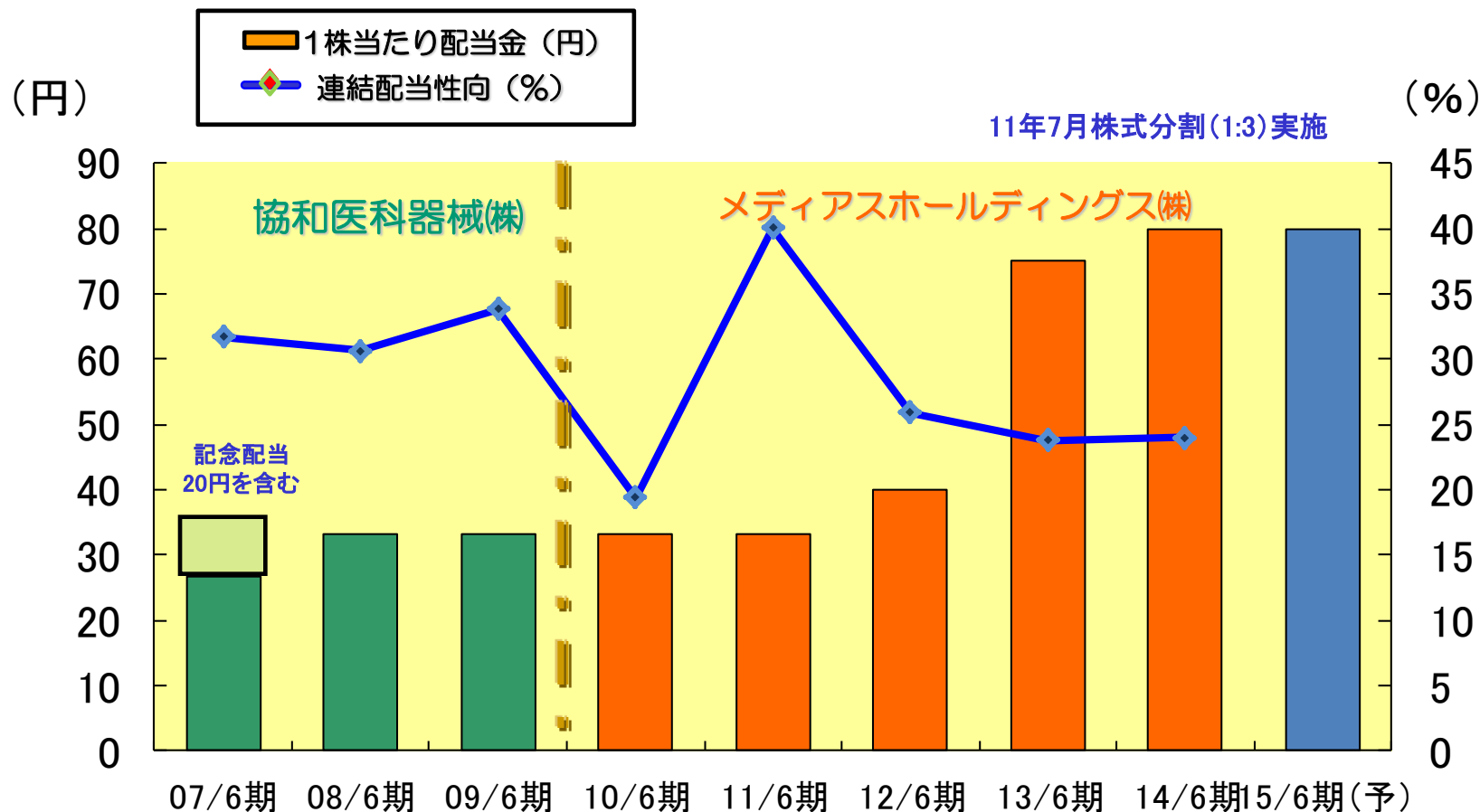
13. 業績目標(連結)

順調に拡大



14. 配当政策

中長期にわたる経営基盤の強化と事業拡大に必要な内部留保を確立しつつ、成長に応じた成果の配分を実施(連結配当性向25~30%)する事を基本方針としております。



※ 当社は、2011年6月30日の株主に対し、2011年7月1日付をもって、普通株式1株につき3株の割合で株式分割をしております。なお、1株当たり配当金及び1株当たり当期純利益は、当該株式分割による影響を考慮しております。

I R

担当役員 代表取締役社長 池谷 保彦
担当部署 社長室

情報開示（ディスクロージャー）

担当役員 取締役 芥川 浩之
担当部署 経営企画部

T E L : 03-3242-3154

F A X : 03-3242-5016

メー ル : ir.m@medius.co.jp

U R L : <http://www.mediusth.com/>

補足資料

会社概要

メディアスホールディングス株式会社

理 念

医療に携わる私たち (Medical+us) は、
医学的用途 (Medical use) に関する知識を
深め、医療現場への情報発信源 (Media)
としての機能を高め、
同じ志を持つ仲間 (us) を増やし、
医療環境の明日 (アス) を創造して
いきます。

2. 沿革

2009年 7月	協和医科器械株式会社より単独株式移転の方法によって、株式移転設立完全親会社として当社設立
2009年 7月	ジャスダック証券取引所に株式上場
2010年 4月	ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所(JASDAQ市場)に株式を上場
2010年 5月	SPD事業強化のため株式会社ケー・エス・ピー・ディ(現メディアソリューション株式会社(本社:群馬県太田市)の株式を100%取得
2010年 7月	北関東地域の販売力強化のため株式会社栗原医療器械店(本社:群馬県太田市)の株式を100%取得
2010年10月	大阪証券取引所ヘラクレス市場、同取引所JASDAQ市場及び同取引所NEO市場の各市場の統合に伴い、大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)に株式を上場
2010年10月	商号をメディアスホールディングス株式会社に変更
2010年10月	本社を東京都中央区へ移転
2012年 7月	首都圏地域の販売力強化のため株式会社ネットワーク(本社:東京都新宿区)の株式を100%取得
2013年 7月	秋田県内における販売力強化のため株式会社秋田医科器械店(本社:秋田県秋田市)の株式を100%取得
2014年 7月	福島県内における販売力強化のため株式会社ジオット(本社:福島県郡山市)の株式を100%取得
2014年10月	福井医療株式会社(本社:福井県福井市)と資本業務提携

3. 協和医科器械株式会社 沿革

- 1959年7月 静岡県清水市(現静岡県静岡市清水区)に**協和医科器械株式会社**を設立し医療機器販売事業を開始
- 1975年8月 レントゲン及び医用電子部門の販売力を強化するため**精工医科電機株式会社**を吸収合併し、ME事業部を創設して修理及びメンテナンス事業を開始(現技術部門)
- 1980年5月 山梨県田富郡に**山梨営業所**(現甲府支店)を開設
- 1981年1月 循環器科・眼科の専門性と販売力を強化するため**株式会社オズ**(現連結子会社・特定子会社、本社:静岡県静岡市)に資本参加
- 1993年10月 神奈川県横浜市に**横浜営業所**(現横浜支店)を開設
- 1995年10月 東京都府中市に**西東京営業所**を開設
- 1995年11月 静岡営業所内において介護福祉事業ショップとして**ベネッセ静岡**を開設
- 1997年8月 愛知県名古屋市に**名古屋南営業所**(現名古屋支店)を開設
- 1998年12月 愛知県内の販売力強化のため**株式会社ハヤシ**の株式を100%取得
- 2006年9月 **ジャスダック証券取引所に株式を上場**
- 2009年4月 **ソネット・エムスリー株式会社との業務提携締結**
- 2009年7月 **協和医科ホールディングス株式会社**
(現:メディアスホールディングス)設立
- 2012年1月 東京都内2拠点を**株式会社栗原医療器械店**と統合



【本社：静岡県静岡市】

4. 株式会社栗原医療器械店 沿革

- 1952年 7月 群馬県太田市に 栗原 基により創業
- 1985年12月 埼玉営業所開設(現熊谷支店)
- 1987年 4月 宇都宮営業所開設(現宇都宮支店)
- 1991年 4月 太田市清原町に本社移転。新社屋落成
- 1994年11月 大宮営業所開設(現さいたま支店)
- 1995年10月 所沢営業所開設(現所沢支店)
- 2004年 4月 株式会社イリカジャパン吸収合併に伴い、水戸支店・土浦支店・小山営業所開設
- 2005年 5月 鶴ヶ島営業所開設。 太田物流センター開設
- 2007年 6月 ISO9001/2000認証取得。協和医科器械株式会社と業務提携
- 2008年 3月 八王子営業所・横浜営業所開設
- 2008年 4月 株式会社大霜吸収合併に伴い、東京西営業所・湘南営業所開設
- 2009年 4月 会社分割により、現 栗原医療器械店設立
- 2008年 6月 千葉営業所開設
- 2010年 7月 協和医科ホールディングス株式会社(現:メディアスホールディングス)との資本業務提携契約締結
- 2010年11月 協和医科器械株式会社との経営統合に伴い横浜営業所閉鎖
- 2012年 1月 協和医科器械株式会社より、東京都の営業権を授受それに伴い拠点の統廃合を実施



【 本社：群馬県太田市 】

5. 株式会社オズ 沿革

1981年1月、協和医科器械株式会社との資本業務提携に伴い、代表取締役を派遣し、協和医科器械株式会社の子会社となりました。
静岡県下を中心に循環器を専門に医療機器を販売しています。

- 1946年11月 創業
- 1981年 1月 **協和医科器械株式会社**100%子会社に
- 1984年 8月 **富士営業所開設**（富士市依田原新田 現：富士市水戸島）
- 1990年 7月 **本社移転**（静岡市高松）
- 1991年 7月 資本金1,000万円に増資
- 1991年12月 **浜松営業所開設**（浜松市篠ヶ瀬）
- 1999年 5月 **本社新築移転**（静岡市高松）



6. 株式会社秋田医科器械店 沿革

- 1935年11月 東京都墨田区に 佐藤 實により創業
- 1966年 6月 株式会社秋田医科器械店設立(資本金50万円)
秋田市亀ノ町に事務所新築移転
- 1974年 4月 横手市に営業所開設
- 1992年 4月 能代市に営業所開設
- 1994年 7月 現住所(秋田市仁井田)に本社新築移転
- 2013年 7月 **メディアスホールディングス株式会社
100%子会社に**



これら4つの企業品質を保ちながら、
県民すべての健康を支えるとともに、
医療現場と高まる高齢化社会のニーズに対応すべく、
誠意を持って邁進してまいります。

7. 株式会社ジオット 沿革

- 1965年 8月 (株)泉器械店設立 資本金1,000千円
本社屋を郡山市神明町1-20に置く
- 1967年10月 代表取締役安宅勝美が就任
- 1971年10月 本社屋を郡山市富久山町福原字舟橋44に移転
- 1974年10月 資本金を4,000千円に増資
- 1975年10月 資本金を6,000千円に増資
- 1977年 2月 本社屋を郡山市桑野5丁目14番6号に移転
- 1977年 4月 会津若松営業所を設置
(所在地)会津若松市南千石町3-38
- 1980年 5月 会津若松営業所を移転
(所在地)会津若松市東千石1丁目1番11号
- 1991年10月 資本金を10,000千円に増資
- 1999年11月 優良申告法人の表彰を授かる(4期連続)
- 2006年 7月 会津若松営業所を移転
(所在地)会津若松市馬場本町4-23
- 2006年 8月 (株)トキワ器械店と合併 社名を(株)ジオットへ変更
資本金を20,000千円に増資
福島支社を開設
(所在地)福島市松山町79
いわき営業所を開設
(所在地)いわき市内郷御厩町3-30-1
- 2014年 7月 メディアスホールディングス株式会社100%子会社に

事業内容

8. 事業内容 ① 医療機器販売事業

先端医療機器

検査や治療を迅速・正確にするための
先端医療機器販売

- 画像診断装置
- 各種臨床検査機器
- カーディオバスキュラー用具
- 内視鏡
- 眼科

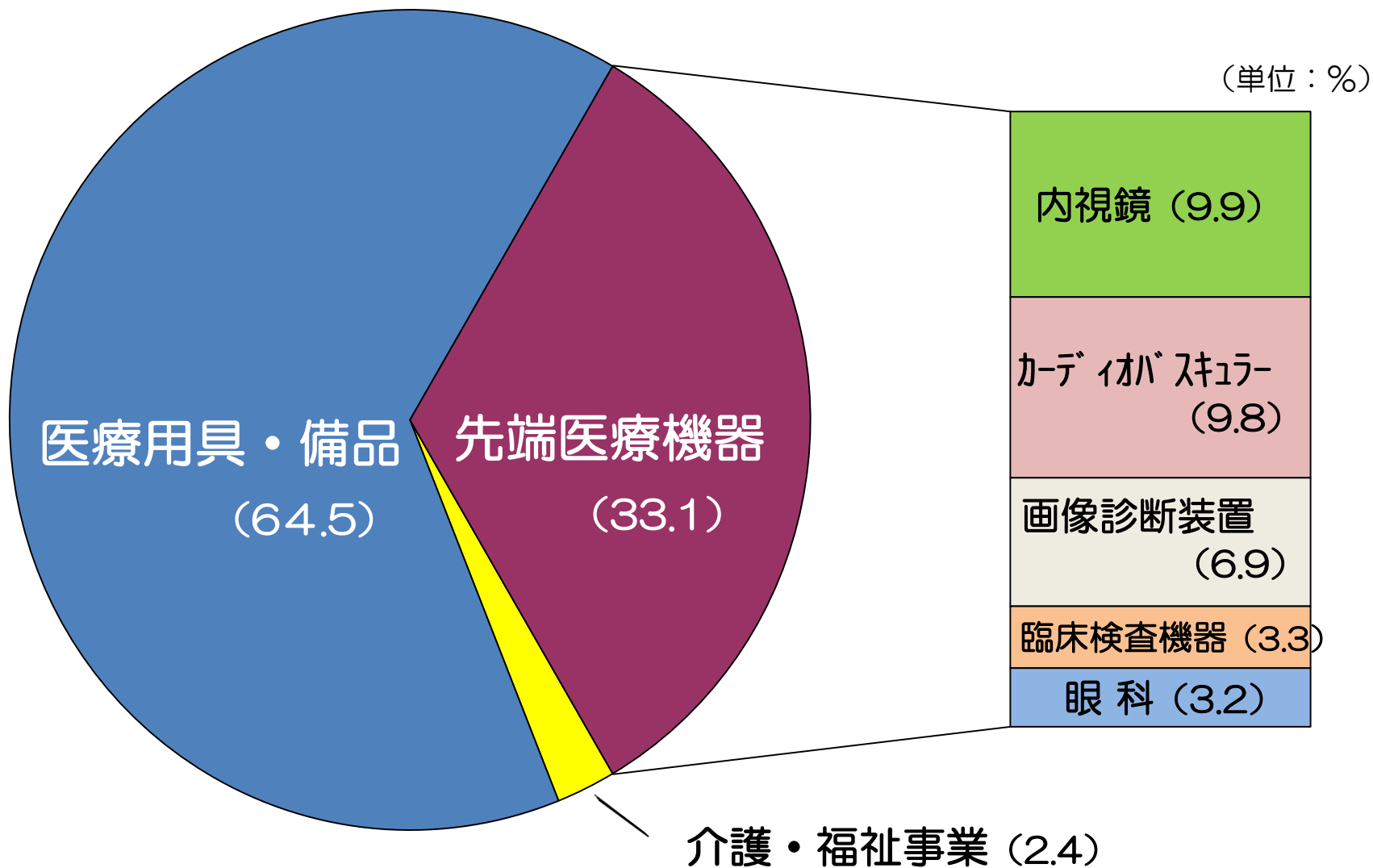


医療用具・備品

注射器などの消耗品から事務機器まで薬品以外のほとんど全てをカバー

- 消耗品類 注射器・点滴用品・X線フィルム
- 検査機器 血圧計・顕微鏡・心電図検査器
- 病院内備品 ベッド・車椅子・薬品棚
- 手術用機器・手術用具 人工関節 等
- その他 レセプトコンピュータ・電子カルテ

売上構成比



<2014年6月期末>

② 介護・福祉事業

救急車搭載医療器械



介護福祉機器(備品・消耗品)



介護施設等

販売・レンタル

一般個人

レンタル件数: 約445, 000件

介護福祉機器を国内の病院等
医療施設及び一般個人に販売
救急用品の販売及びレンタル、
AEDの販売等



業界順位

9. 業界順位(専門ディーラー別) ①

(単位：%)

順位	秋田県(241億円)		福島県(486億円)		茨城県(507億円)	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	大沢商事	19.1	サンセイ医機	40.7	栗原医療器械店	14.0
2	源川医科器械	16.1	エヌジェイアイ	7.1	ムトウ	13.9
3	秋田医科器械店	11.0	ジオット	5.2	アステック	7.6
4	オルガンメディカル	4.5	三陽	4.0	日東	7.4
5	オリンパスメディカル サイエンス販売	3.6	シバタインテック	3.9	中嶋メディカルサプライ	5.6
6	丸木医科器械	2.6	テスコ	3.7	ディーブイエックス	4.7
7	シバタ医理科	2.5	コセキ	2.3	セントラルメディカル	3.6
8	南部医理科	2.4	メディック	2.2	東日本メディカル	
9	ムトウ	2.2	オリンパスメディカル サイエンス販売	2.0	双葉	3.0
10	東北医療産業	2.0	ムサシエンジニアリング	1.9	ムサシエンジニアリング	2.8

出所) 「医療機器・用品年鑑2014年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より当社分析

業界順位(専業ディーラー別) ②

(単位：%)

順位	栃木県 (286億円)		群馬県 (390億円)		埼玉県 (1,052億円)	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	サンメディックス	27.5	栗原医療器械店	38.6	栗原医療器械店	12.4
2	栗原医療器械店	15.0	栗原レントゲン	5.4	ムトウ	8.2
3	栃木放射線	9.5	ディーブイエックス	4.6	MMコーポレーション	4.5
4	日成メディカル	7.7	エム・イーサービス	3.8	いわしや盛田器械店	4.1
5	オリンパスメディカルサイエンス販売	3.6	メディコ	2.7	平和医用商会	3.8
6	ライズ	3.3	川崎医療器	2.7	アイティーシー	3.1
7	ムトウ	2.6	オリンパスメディカルサイエンス販売	2.7	ウイン・インターナショナル	2.7
8	アスト	2.6	シーアールメディカル	2.2	オリンパスメディカルサイエンス販売	2.2
9	い己しや丸富器械店	2.2	エムシー	1.9	イノメディックス	2.2
10	エムシー	2.0	ジーエムエス	1.6	アスト	2.0

出所) 「医療機器・用品年鑑2014年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より当社分析

業界順位(専業ディーラー別) ③

(単位：%)

順位	千葉県 (945億円)		東京都 (3,019億円)		神奈川県 (1,550億円)	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	イノメディックス	12.4	イノメディックス	6.8	協和医科器械	5.9
2	MMコーポレーション	8.0	ムトウ	5.7	MMコーポレーション	5.7
3	ウイン・インターナショナル	6.4	MMコーポレーション	5.4	八神製作所	5.6
4	ムトウ	5.7	グリーンホスピタルサプライ	4.2	ムトウ	5.6
5	ケイエムシー	4.7	オリンパスメディカルサイエンス販売	3.9	サンメディックス	5.3
6	福山医科	2.9	栗原医療器械店	3.3	望星サイエンス	4.7
7	グランメイト	2.5	八神製作所	3.2	サンライフ	4.4
8	フジタ医科器械	2.0	ディービーエックス	2.4	ディービーエックス	3.8
9	アイティーシー	1.9	竹山	2.2	東和医科器械	3.6
10	栗原医療器械店	1.7	サンメディックス	2.1	ソルブ	3.5

出所) 「医療機器・用品年鑑2014年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より当社分析

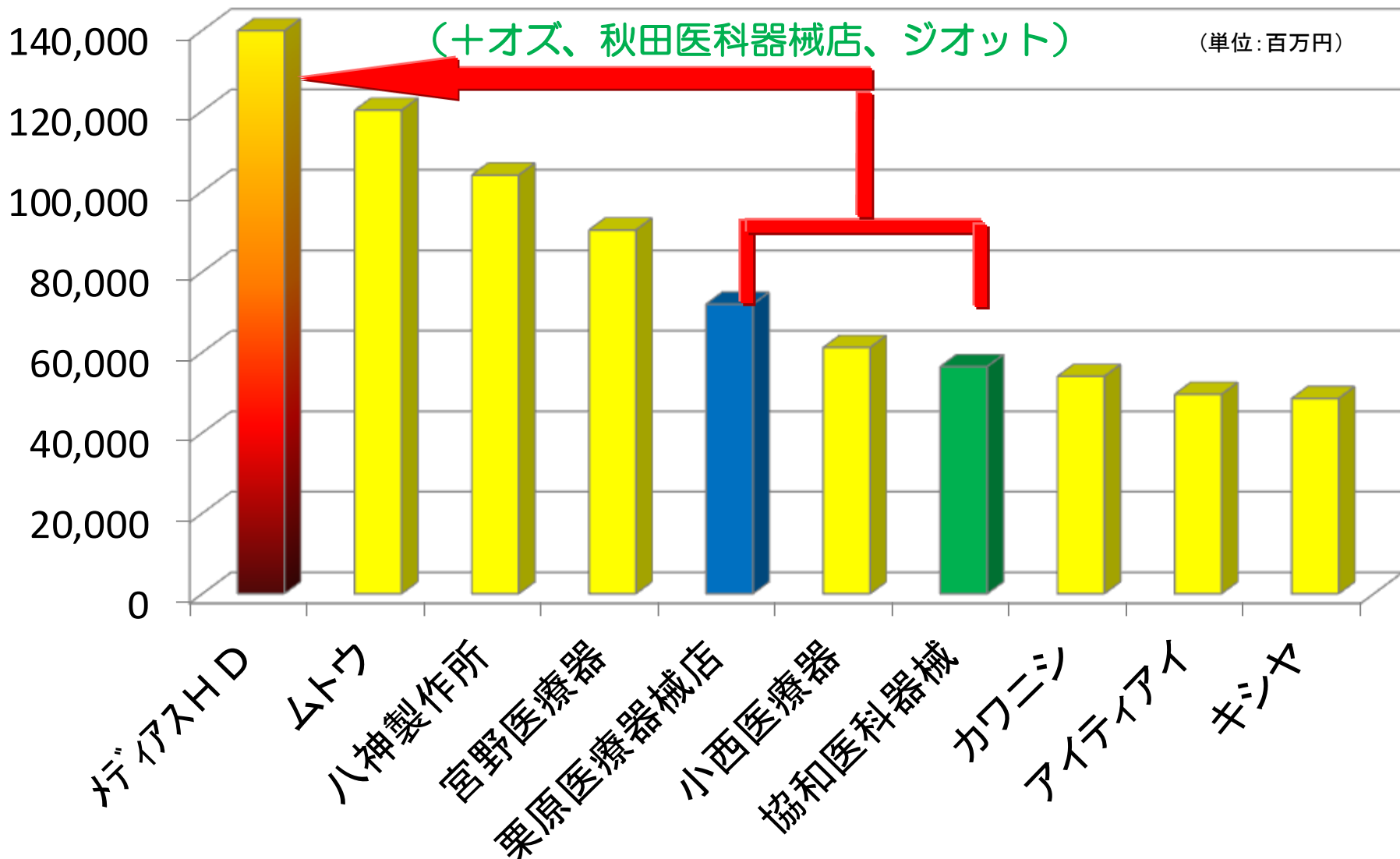
業界順位(専業ディーラー別) ④

(単位：%)

順位	山梨県 (217億円)		静岡県 (747億円)		愛知県 (1,405億円)	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	マコト医科精機	27.4	協和医科器械・オズ	42.0	八神製作所	34.8
2	豊前医化	18.0	八神製作所	12.2	協和医科器械・オズ	6.7
3	ムトウ山梨	13.6	リイツメディカル	4.0	三輪器械	6.2
4	協和医科器械	10.3	東西医用器	3.3	リイツメディカル	3.4
5	平塚メディカル	3.1	ワールド・メディカル・サプライ	2.5	オリオン電機	1.9
6	匠メディカル	2.7	アクセス	2.4	トゥルムホッホメディテック	1.9
7	中央メディカル	1.8	ディーブイエックス	2.4	名古屋医理科商会	1.8
8	伊東メディカル	1.3	ヴィッツジャパン	1.8	ワキタ商会	1.5
9	平穂医科器械	0.7	マストレメディカル	1.8	加藤器械店	1.5
10	-	-	ベルメディカルケア	1.7	エッチエスメディカル	1.4

出所) 「医療機器・用品年鑑2014年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より当社分析

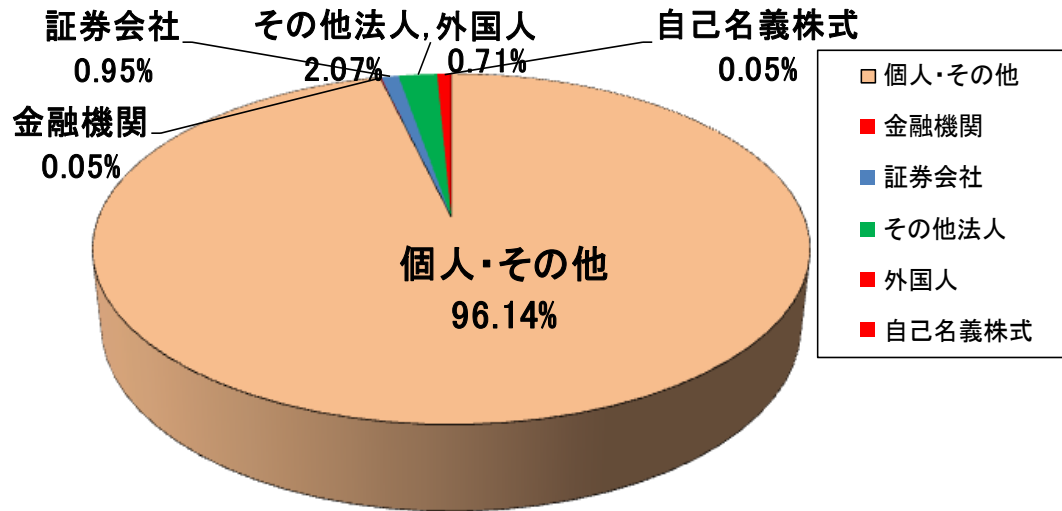
10. 業界ポジション（卸売業専門業者）



出所) 「医療機器・用品年鑑2014年度版市場分析編」(株)オールアンドディ発行より当社分析

11. 株主状況

【所有者別株主数比率】

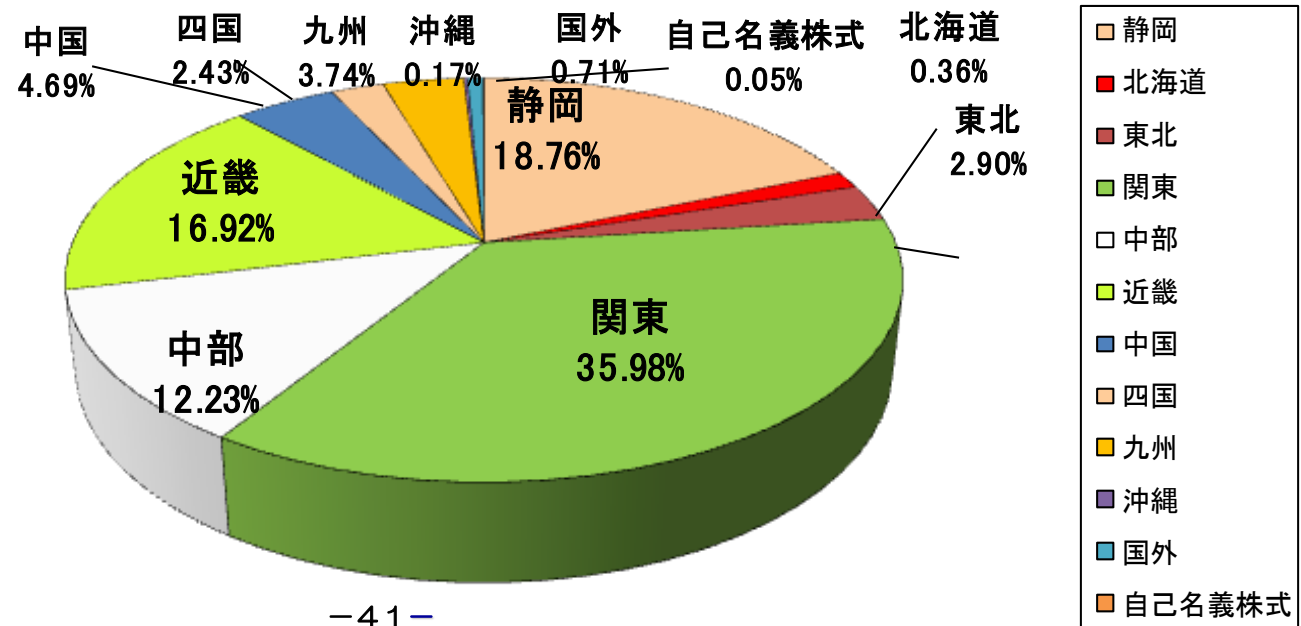


2014年12月31日現在

発行可能株式数	9,900,000 株
発行済株式総数	3,242,256 株
株主数	1,684名

(自己株式78株含む)

【地域別株主数比率】



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。